

登園基準

(1) 発熱

登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者への連絡が望ましい場合
<p>発熱期間と同日の回復期間が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝から 37.5℃を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い。 食欲がなく朝食、水分が摂れていない。 24 時間以内に解熱剤を使用している。 24 時間以内に 38℃以上の熱が出ている。 	<p>前日 38℃を超える熱が出ていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱が 37.5℃以下で元気があり、機嫌がよく顔色がよい。 食事や水分が摂れている。 発熱を伴う発しんが出ていない。 排尿の回数が減っていない。 咳や鼻水を認めるが、増悪していない。 24 時間以内に解熱剤を使っていない。 24 時間以内に 38℃以上の熱は出ていない。 	<p>38℃以上の発熱がある (園では 37.5 以上で連絡します)</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気がなく機嫌が悪い。 咳で眠れず目覚める。 排尿回数がいつもより減っている。 食欲なく水分がとれない。 <p>※熱性けいれんの既往児は医師の指示に従う。</p>

(2) 下痢

登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者への連絡が望ましい場合
<ul style="list-style-type: none"> 24 時間以内に 2 回以上の水様便がある。 食事や水分を摂ると下痢がある。 (1 日に 4 回以上の下痢) 下痢に伴い体温が平熱より高め。 朝、排尿がない。 機嫌が悪く元気がない。 顔色が悪くぐったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染のおそれがないと診断されたとき。 24 時間以内に 2 回以上の水様便がない。 食事や水分を摂っても下痢がない。 発熱が伴わない。 排尿がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事や水分を摂ると刺激で下痢をする。 腹痛を伴う下痢がある。 水様便が 2 回以上みられる。

(3) 嘔吐

登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者への連絡が望ましい場合
<ul style="list-style-type: none"> 24 時間以内に 2 回以上の嘔吐がある。 嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである。 食欲がなく水分もほしがらない。 機嫌が悪く元気がない。 顔色が悪くぐったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染のおそれがないと診断されたとき。 24 時間以内に 2 回以上の嘔吐がない。 発熱がみられない。 水分摂取ができ食欲がある。 機嫌がよく元気である。 顔色が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 咳を伴わない嘔吐がある。 元気がなく機嫌、顔色が悪い。 2 回以上の嘔吐があり水を飲んでも吐く。 吐き気がとまらない。 お腹を痛がる。 下痢を伴う

※厚生労働省の「保育所における感染症対策ガイドライン」にそった登園基準です。

インフルエンザ感染時の登園基準について

インフルエンザの登園基準は、

「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで」です。

※ただし、病状により嘱託医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

出席停止の日数の数え方について

◎「発症した後 5 日を経過するまで」の数え方

発症した日（発熱等が始まった日）は含まず、翌日を第1日目と数え、5日目までお休みをします。

※「発症」とは、「発熱等」の症状が現れたことを指します。

◎「解熱した後3日を経過するまで」の数え方

解熱をした日は、日数に数えず、その翌日から1日目と数え、3日目までの3日間をお休みします。

※発熱・解熱の体温に関する一律の基準はありません。個々の平熱に応じて、個別に判断します。子ども一人一人の元気な時の「平熱」を知っておくことが重要です。

★ 熱の経過やその他の症状等、登園再開の判断で悩む場合は、医療機関にご相談ください。

例	発症日	発症後5日間（登園停止期間）					発症後5日を経過		
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症後 1日目に 解熱した 場合		解熱 	1日目 	2日目 	3日目 		登園 OK! 		
発症後 2日目に 解熱した 場合			解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK! 		
発症後 3日目に 解熱した 場合				解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK! 	
発症後 4日目に 解熱した 場合					解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK!

※感染症の登園基準 主治医の診断を受けてから登園して下さい。

病名	潜伏期間	感染期間	主な症状	登園基準
1 インフルエンザ	1～2日	感染後約10日	発熱・全身倦怠・鼻カタル	発症5日経過後かつ 解熱後3日経過後
2 百日咳	6～15日	感染後約3週間	発作性咳の長期反復・持続	咳が消失
3 はしか(麻疹)	10～12日	発疹出現の前後4～5日	発作性咳のカタル・発熱・粘膜炎のゴクリツク斑	解熱後3日
4 おたふくかせ(流行性耳下腺炎)	14～24日	症状を示す1週間前～その後9日	発熱・耳下炎・舌下腺・顎下腺の腫脹及び圧痛	耳下腺の腫れが消失
5 三日はしか(風疹)	14～21日	発疹出現の前後7日	種々の発疹・軽熱・リンパ腺腫大	発疹が消失
6 水ぼうそう(水痘)	11～20日	水泡発症前2日後6日	軽熱・被覆部の発疹・斑点兵症状(水泡・顆粒状瘡蓋)	全ての発疹が瘡蓋になるまで
7 ぶどう熱(咽頭結膜炎)*原因:アデノウイルス	5～6日	潜伏期後半～発症後5日	発熱・全身症状・咽頭炎と結膜炎の合併症	解熱後2日
8 流行性出血結膜炎 *原因:アデノウイルス	7日以上	発病後約2週間	軽熱・頭痛・全身倦怠・結膜炎の炎症・眼瞼浮腫・目ヤニ	治癒するまで
9 急性出血性結膜炎	1～2日	発病後約2週間	流涙・結膜充血・目瞼浮腫・滲出液	解熱するまで
10 ヘルペシス	2～7日		高熱・咽頭痛・咽頭に水泡	解熱するまで
11 溶連菌感染症	2～4日	潜伏期後半～発症後約7日	発熱・咽頭熱・扁桃腺炎・莓舌 頸部リンパ節炎(全身に発疹)	有効治療後2～3日
12 乳児嘔吐下痢症		不定期	発熱・下痢・嘔吐	主治医の確認
13 感染症胃腸炎 *原因:ノロ、ロタ、アデノウイルス等	1～3日		発熱・下痢・嘔吐・腹痛	主治医の確認
14 マイコプラズマ肺炎	10～24日		咳・発熱・呼吸困難(重症)	症状改善後
15 突発性発疹	約10日		高熱・解熱後発疹	症状改善後
16 単純ヘルペス感染症	2～14日		口内炎症	
17 とびひ	2～10日	水泡消滅まで	豆粒大の水泡	主治医の確認
18 手足口病	2～7日	水泡消滅まで	手足口に赤斑→水泡	体調次第で登園可能
19 りんご病(伝染性紅斑)	17～18日	14～20日	顔面赤斑性発疹 ※特に頬部	体調次第で登園可能
20 RSウイルス感染症	4～6日		呼吸器症状(ヒューヒューという呼吸音・咳・痰)	呼吸器症状が消失し
21 ヒトメタニューモウイルス感染症	4～6日		呼吸器症状(ヒューヒューという呼吸音・咳・痰)	全身状態が良いこと
22 新型コロナウイルス感染症	3～5日	感染後約10日	発熱・咳・頭痛・のどの痛み・下痢・鼻水・味覚・嗅覚障害	発症5日経過後